



カブドットコム証券株式会社  
 (コード番号：8703 東証1部)  
 代表執行役社長 齋藤 正勝

2010年9月13日

日本格付研究所による当社格付けに関するお知らせ（長期A+を維持）  
 ～ ネット証券最上位の格付け。長期格付けの見通しは引き続き「安定的」。短期もJ-1を維持～

[株式会社日本格付研究所](#)（「以下、JCR」）による当社格付けが見直しされ、本日付けで長期A+（維持）、短期J-1（維持）の据え置きとなったことをお知らせいたします。当社長期格付けは、2007年6月29日の格上げ以降引きA+を維持しており、さらに見通しも「安定的」で据え置かれました。当社の格付けはネット証券では最上位、また大手対面証券会社と比較してもほぼ同等なものとなっております。

1. 格付けの内容（括弧内は見通し）：

対象格付け	今回（2010年9月13日付）	前回（2009年9月11日付）
長期優先債務格付け	A+（安定的）	A+（安定的）
短期優先債務格付け	J-1	J-1

2. 格付機関：株式会社日本格付研究所

3. 格付日：平成22年9月13日

昨今、株式市況が低迷する中、証券会社の収益力および財務体質の弱体化を懸念する向きもありますが、当社は親会社である[三菱UFJフィナンシャル・グループ](#)との諸方面による結びつき、システム内製化等による収益性の高さ、および良好な財務体質が評価され、従来の格付けは据え置きとなりました。当社は引き続き、強固な財務基盤の確立に努めてまいります。

さらに当社は、高い格付けを裏づけとした財務力を活かして、信用建玉残高または新規建て約定金額の合計額に応じて安くなる信用取引の手数料体系を導入しております。本手数料体系では、信用建玉残高または新規建て約定金額の合計額が一定額以上の場合手数料を無料としておりますが、本年8月にはその上限を従来の8,000万円から7,000万円にまで引き下げをおこなっております。

今後も、当社ならではの財務力を活かしたサービスをお客さまに提供していく所存です。

（当社関連プレスリリース）

[信用取引における手数料無料（0円）対象を拡大。大口取引がますます有利に](#)

なお格付けの理由等の詳細に関しましては、JCRより本日公表されております[ニュースリリース](#)をご参照ください。

（参考）

JCRならびに株式会社投資情報センター（R&I）（※1）による主要証券会社・主要ネット証券の長期債務格付け（※2）ならびに見通し（括弧内）

	格付機関		
	JCR	R&I	
高格付 ↑ 格付	AA	三菱UFJ銀行・スル―証券（安定的）	
	AA-	野村証券（安定的） 日興コーディアル証券（安定的） みずほ証券（安定的） みずほインバーステツ証券（安定的）	
	A+	カブドットコム証券（安定的） 大和証券（安定的）	野村証券（安定的） 三菱UFJ銀行・スル―証券（安定的） 日興コーディアル証券（安定的） みずほ証券（ネガティブ） みずほインバーステツ証券（ネガティブ）
	A		大和証券（安定的） 大和証券キャピタル・マーケット（安定的） シググループ証券（ネガティブ）
	A-		日本相互証券（安定的）
	BBB+	松井証券（安定的） マックス証券（ネガティブ）	松井証券（安定的） SBI証券（安定的） 新生証券（安定的）
	BBB	岡三証券（安定的） 東海東京証券（安定的）	楽天証券（安定的）
	BBB-		極東証券（安定的）

（平成22年9月13日現在の公表資料から当社抜粋）

※1：JCR、R&Iにおいては、発行体（企業）からの依頼がない限り、格付けの付与をおこないません。

※2：長期債務格付けは、1年を超える優先債務の履行確実性についての格付機関の意見であり、確実性の高いと思われるものから順に、AAA>AA>A>BBB>BB>B>CCC>CC>Cという格付種類があります。AA以下の格付については、同一等級内での相対的位置として[+]または[-]の符号が記されます。例えば、A格の中では債務履行確実性の高い順に、A+（シングルAプラス）>A（シングルAフラット）>A-（シングルAマイナス）となります。なお、債券やローンなどの個別債務の格付けは個々の債務の内容により債務者に対する包括的な格付けと異なることがあります。

わたしたちはMUFGです。 